

# は虫類・両生類

## は虫類

8種が記録されています。野生のヘビやカメは今とても数が少なくなっています。ヘビが減ったわけのひとつは、えさになるカエルが少なくなったことです。カエルが減ったのは、オタマジャクシが成長できる小川や池がつつぎつつぎになくなったためです。は虫類は両生類とともに冬は安全な場所で冬眠します。

**ニホンヤモリ** 夜行性で、色は淡い灰かっ色です。体が背腹に扁平なので、せまいすき間に隠れます。四肢の指先のひだが吸盤のように働くので家の窓ガラスなどにはりつき、照明に集まるガなどの昆虫を食べます。ヤモリは「家守」です。



ニホンヤモリ

**ニホントカゲ** 背は濃いかっ色でつやがあり、若い時は尾がつやのある緑色です。昼間は、草むらで虫などを捕らえて食べます。カナヘビに比べるとずっと数は少ないです。

**クサガメ** イシガメとともに日本を代表する淡水のカメで、イシガメより広く分布します。背の甲に縦に3本の隆起があるのが特徴です。肉食で、カエルに噛みついて鋭い爪で引きさいて食べます。冬は水中で冬眠します。

**ニホンカナヘビ** 背は茶かっ色で凹凸があり、つやがないのでトカゲと区別できます。尾がたいへん長く、そこを捕まえられると簡単に切れて逃げます。切れた尾は後で再生します。昼間、草むらで虫などを食べます。



ニホンカナヘビ

**ヒバカリ** 成長しても40~50cmの小形のヘビ。全体がつやのある茶かっ色で首の左右にうす黄色のすじがあるのが特徴です。夜行性で、カエルやミミズなどの小動物を食べます。



ヒバカリ

**ヤマカガシ** 1m以上に成長する大形のヘビで、全体に黒いもようがあり、頭部の両脇に黄色、その後ろには赤いもようが混じっているのが特徴です。主にカエルを、時には大形のヒキガエルも食べます。上あごの奥に毒腺があるので、深くかまれると危険です。

★写真は表面にあります。

## 両生類

6種が記録されています。オタマジャクシの時代はえら呼吸の水中生活で、変態してカエルになると肺呼吸になりますが、皮膚からも酸素をとります。ウシガエルやトウキョウダルマガエル、ツチガエルなどは水中での時間が長く、ヒキガエルやアカガエル、アマガエル、シュレーゲルアオガエルは陸上での時間が長いのですが、繁殖期には、水中や水辺に集まって鳴き交わします。肉食で昆虫類、ミミズ、魚類など、大きな口と器用な舌で動くものはなんでも食べます。冬は土中や水中などで冬眠します。

**ニホンアカガエル** ほぼ全身赤かっ色で、眼の後ろの黒いひし形のもようが特徴です。産卵はカエルの中で最も早く、1月下旬から2月上旬にかけて、水田や水路などの水中に大きな卵塊を産みます。鳴くのは主に産卵の時期です。稲刈り後、水田の水を落とすため、雨の少ない冬期には産卵に適した場所がなくなり、個体数が激減しています。★写真は表面にあります。

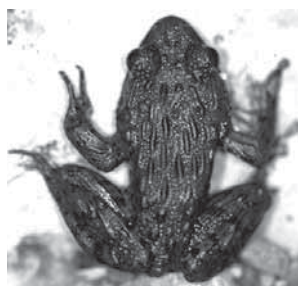


シュレーゲルアオガエル

**ニホンアマガエル** 小形のカエルで背面は明るい緑色、腹面は白に近い淡色、眼の前後の帯状の黒いもようが特徴です。体色は周囲の色により緑色から灰色やかっ色と、すばやく変化します。足の指先に吸盤があり、樹木の幹や葉に止まります。水田から住宅街まで広く分布し、昆虫類やその幼虫、クモなどを捕らえて食べ、雨が近づくとよく鳴き交わします。繁殖期は4-7月で、わずかな水たまりを見つけては少しずつ、あちこちに産卵します。★写真は表面にあります。

カエルの鳴き声  
アズマヒキガエル：クッククク、ググググ  
ニホンアカガエル：キョキョキョキョキョキョキョ  
トウキョウダルマガエル：ゲゲゲゲゲゲ  
ウシガエル：ヴォーヴォーヴォー、ヴォォォ  
ニホンアマガエル：クエックエックエック  
シュレーゲルアオガエル：キリリリリ、カラララ

**シュレーゲルアオガエル** 大きさも体色もニホンアマガエルによく似ていますが、眼の前後に帯状の黒いもようがなく体は全て緑色です。四肢の指先に吸盤があり、主に草や低木の上で生活しています。昆虫類やその幼虫などを食べます。繁殖期は2-5月で、オスが水田の畦などの土に浅い穴を掘り、メスがそこに泡状の卵塊を産みます。泡の中でオタマジャクシになると水中に落ち、そこで変態するまで生活します。



ツチガエル

**ツチガエル** 背中 of 皮膚にイボがある小形のカエルです。10年前の調査ではわずかに確認されましたが、今回の調査では確認されませんでした。どこかにひっそりと生きているのでしょうか。

**トウキョウダルマガエル** 繁殖期は5-7月ごろ。黒いもようのある背面の中央に黄緑や淡黄の縦すじが1本あり、その両側にかっ色の縦じま、腹面は白色です。かつては本州以南に広くいるトノサマガエルと同じと思われていましたが、関東地方にいるのは別の種でトウキョウダルマガエルと名づけられました。★写真は表面にあります。

### 調査報告書より

は虫類：クサガメ、アカミミガメ、ニホンヤモリ、ニホンカナヘビ、ニホントカゲ、アオダイショウ、ヒバカリ、ヤマカガシ  
両生類：アズマヒキガエル、ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエル、ウシガエル、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル